

## 福祉利用割引券

- ◆対象 市内に6カ月以上継続して住民登録をし、次のいずれかに該当する在宅の方
- 70歳以上の方
  - 身体障害者手帳(1級・2級)をお持ちの方
  - 療育手帳(A判定)をお持ちの方
  - 精神障害者保健福祉手帳(1級)をお持ちの方

※特養老人ホームに入所または病院・診療所に長期入院中の方は申請できません。退所または退院してから申請してください

- ◆日時・場所 ※市役所では受け付けていません

場所	日時	中央バス臨時販売所	
りんくる(花川北6-1)	4/1(月)~5(金) 9:30~16:30	○	
	4/8(月)以降、土日祝日を除く毎日8:45~17:15随時受付	×	
ひまわり会館(花川南5-3)	4/1(月)~3(水)・6(土) 9:30~16:30	○	
観光センター(親船町107)	4/1(月) 10:00~16:30	○	
八幡コミセン(八幡2-332)	4/1(月) 10:00~16:30	○	
花川南第1会館(花川南8-1)	4/3(水) 10:00~16:30	○	
白樺会館(花川北2-5)	4/4(木) 10:00~16:30	○	
厚田保健センター(厚田45-5)	4/1(月) 10:00~12:00	○	
	4/2(火)以降、土日祝日を除く毎日8:45~17:15随時受付	×	
厚田区 古潭会館(古潭40-2)	4/1(月) 13:15~13:45	○	
望来コミセン「みなくる」(望来27-7)	4/1(月) 14:00~15:00	○	
聚富会館(聚富126-11)	4/1(月) 15:15~16:00	○	
虹が原会館(虹が原165-345)	4/8(月) 10:00~11:00	○	
桂沢会館(望来129-10)	4/8(月) 11:30~12:00	×	
浜益区	浜益支所(浜益2-3)	4/1(月)以降、土日祝日を除く毎日8:45~17:15随時受付	×
		4/8(月) 13:00~14:00	○
	濃昼会館(濃昼21-11)	4/1(月) 10:00~10:30	×
	送毛会館(送毛37-3)	4/1(月) 10:45~11:15	×
	毘砂別会館(毘砂別35-4)	4/1(月) 11:30~12:00	×
	群別自治会館(群別596-1)	4/1(月) 13:30~14:00	×
	幌会館(幌21-2)	4/1(月) 14:15~14:45	×
	千代志別会館(千代志別55-6)	4/1(月) 15:00~15:30	×
	川下コミセン(川下30-19)	4/2(火) 10:00~10:30	×
	柏木コミセン(柏木3-15)	4/2(火) 10:45~11:15	×
実田会館(実田129-2)	4/2(火) 11:30~12:00	×	

- ◆バス券交換 中央バス臨時販売所で福祉利用割引券をバス券に交換できます。
- ◆アンケートを実施します 利用者の意向を確認させていただきたく、3月下旬に送付する案内文などと一緒にアンケート用紙を同封します。申請の際に会場で提出いただきますよう、ご協力をお願いします。
- ◆問合せ 高齢者支援課 ☎72-6121 厚田支所市民生活課 ☎78-1033  
浜益支所市民生活課 ☎79-2112

## 障がい者福祉タクシー利用券

- ◆対象 市内に6カ月以上継続して住民登録をし、次の①~③のいずれかに該当する方
- ①身体障害者手帳(1級または2級の視覚・下肢・体幹、心臓や腎臓など内部障がい)をお持ちの方
  - ②療育手帳(A判定)をお持ちの方
  - ③精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方
- ※郵送登録をされていない方は、手帳(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳)、窓口に来られる方の印鑑、本人確認ができるもの(免許証、保険証など)をお持ちください
- ※対象者には3月下旬に案内文と申請書兼委任状を送付します

- ◆日時 4/1(月)~ ◆場所 りんくる、厚田保健センター、浜益支所  
※福祉利用割引券の交付の会場でも受け付けます

- ◆問合せ 障がい支援課 ☎72-3194 厚田支所市民生活課 ☎78-1033  
浜益支所市民生活課 ☎79-2112



高齢の方や障がいのある方の  
外出支援や健康増進を図るため  
福祉利用割引券・  
障がい者福祉タクシー利用券  
を交付します

市が指定した交通機関・施設(バス、ガソリンスタンド、温泉、パークゴルフ、市民プールなど)を利用の際、料金が割引になる「福祉利用割引券」と、タクシーの基本料金を助成する「障がい者福祉タクシー利用券」を交付します。

対象者には3月下旬に案内文を、郵送登録された方には、福祉利用割引券、「障がい者福祉タクシー利用券」を送付します

# 鰐と鮫様

去年の夏、道南福島町にある「白神神社」に行ってきました。今は猿田彦命を祭っていますが、江戸時代は「鰐」が主神でした。「鰐」とは巨大な鮫のことです。その昔、沖を通った船が嵐で難破しうになつたとき、船長の祈りに応え、船を守り、そのため祭られたという伝説があります。当時は「祖鮫神社」といっていました。

実はこの「祖鮫さん」と石狩弁天社や金龍寺の「鮫様」は同じ神

様だという説があります。

知っている方も多いと思いますが、「鮫様」の正体は「巨大なチョウザメ」で、鮫ではありません。ところが、「鮫様」の像を見ると台座の魚は明らかにチョウザメでなく、鮫の姿をしています。なぜ、なのでしょう

か？ 像は本州で製作され、仏師がチョウザメを知らなかった可能性もありますが、私はそうではなく、「恵比須信仰」から鮫の姿になった

のだろうと思います。その証拠に弁天社の「鮫様」の体に斑点が描かれていて、ジンベイザメの姿に似ているからです。本州では古くからジンベイザメは「恵比須様」で、豊漁、海上安全を守る海の神です。おそらく、そのような信仰から、「ジンベイザメ＝恵比須様＝鮫様」と考え

て像が造られたのでしよう。

また、福島町の「祖鮫さん」も恵比須信仰による神で、その点、「鮫様」と共通点があるといつて良いのでしよう。ただ「鮫様」はアイヌ伝承・信仰が根底にあるとみられ、その点で「祖鮫さん」と異なります。

(石橋孝夫)



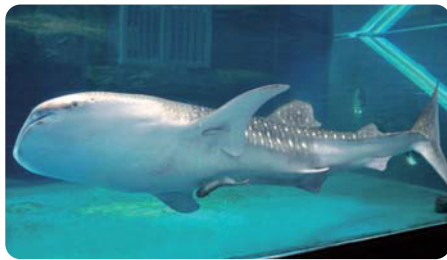
「鮫様」の台座の鮫(弁天社)



金龍寺の「鮫様」



恵比須様



ジンベイザメ



チョウザメ



石橋 孝夫 Takao Ishibashi

専門分野は考古学と石狩史。石狩紅葉山49号遺跡の発掘を手がけたほか、縄文時代から江戸時代に至るサケ漁の方法や文化について研究する。

ERIS 「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ(<http://www.i-eris.tv/>)でもご覧いただけます。